

## 矢板市家族会防衛講話 ～地元 de 貢献する喜び～



防衛講話の様子

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田一陸尉）は、2月3日（火）、矢板市家族会（会長 萩島氏）の依頼を受け、矢板市役所において防衛講話を行った。

講師は、栃木地本募集課長（斉藤2空佐）で、『航空自衛隊の概要と自身の勤務経験について』というテーマで行われ、矢板市家族会員11名が聴講した。

講師の斉藤2空佐は、矢板市に隣接している那須塩原市の出身であり、地元出身者が救難ヘリのパイロットとして活躍している話に、聴講者たちは親近感を持つとともに興味深く聞き入っている様子であった。参加者からは「身近な人が、航空自衛隊で活躍しているなんて感謝しかない。救難という仕事は大変な仕事だと思えますが、頑張ってください」と話していた。また、航空自衛隊が航空宇宙自衛隊となることについての質問などがあり、詳しく解説を行うなど、積極的な質疑応答が行われた。その後、昼食を交えた懇談会が行われ、盛況のうちに終了した。

講話を行った斉藤2空佐は、「今回の講話は、航空自衛隊を知ってもらえる良い機会になりました。少しは地元にご貢献できたと思います」と語ってくれた。

大田原地域事務所は「今後も、地域の協力団体との連携を継続していく」としている。

## 那須塩原市立日新中学「防災教育」 ～「積極性」そして、「楽しく学ぶ」を重視～



重点ポイントを語る黒崎3陸曹



防災教育支援の様子

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田一陸尉）は、2月5日（木）、那須塩原市立日新中学において、学校が主催する防災教育を支援した。

「人命救助」というテーマに沿って、身近なものを用いた止血及び固定の要領や訓練用のAEDと人形を用いた心肺蘇生法の教育支援を2年生90名に対し実施した。

本教育は、「防災に対する意識を高めることで、いざというときに自分自身や仲間を守ることができる知識、技能を習得すること」を目的としている。

全般説明の時、学校担当広報官の黒崎3陸曹より「今回の防災教育の重点ポイントは『積極性』。いざという時に積極的に行動できれば、命を救うことができる」と話したことが、学生たちの共感を得て心に響いていた様子であった。その後、心肺蘇生法、止血法及び固定法に分かれて担当の自衛官から説明を受けながら各課題に取り組んでいた。特に心肺蘇生法では、訓練用人形を前に「AEDもってきて！」「119番に連絡をして救急車呼んで！」といった実際の場面を想定した実習を行い、疑問を感じた場合はすぐに近くの自衛官に質問するなど集中して取り組んでいた。学生たちにとって、声を出すことの恥ずかしさもあったが、楽しみながら学ぶことによって積極的に教育を受ける姿があり、今回の教育支援は盛況のうちに終了した。

大田原地域事務所は、「今後も引き続き多くの学校との連携及び信頼関係を強化し、『地域密着型』の広報で邁進していく」としている。